

整理番号	0701
単位数	2 単位

教科	芸術科	科目	音楽 I
学年	1 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科 音楽選択者

学習到達目標	
①歌唱、器楽、創作による表現活動及び鑑賞活動の幅広い活動を通じて、音楽を愛好する心情を育成する。 ②音楽の良さを感じ取り、自己の感じ取ったイメージを様々な形で表現し、聞き手に伝える表現力を伸長する。 ③我が国や諸外国の音楽を学習し、それぞれの音楽文化の特性や良さを感じ、多様な音楽観の育成をはかる。	
使用教材	
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)
補助教材	Music Note (啓隆社) 各種プリント等

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音の多様性について理解している。 ○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱、器楽、創作で表している。	○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさ自ら味わって聴いたりしている。	○主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・授業に取り組む態度 ・学習状況の観察 ・提出状況 ・探求活動の表現	・学習状況の観察 ・探求活動の表現 ・個性を生かした表現	・学習状況の観察 ・探求活動の表現 ・個性を生かした表現

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○声を重ねて	○正しい姿勢や発声法を身に付け、表情豊かに表現する。	○	○	○
	○器楽①〈キーボード〉	○基本的な奏法や様々な奏法を習得し、アンサンブルをする。	○	○	○
	○音楽理論	○音符や休符等、音楽記号を理解する。	○	○	○
	○オペラの世界〈鑑賞〉	○オペラの特徴や形式作品について知る。	○	○	○
二学期	○歌曲の魅力	○歌詞の読み方と意味を理解し、表情豊かに表現する。	○	○	○
	○オーケストラの魅力	○オーケストラについて理解させる。	○	○	○
	○器楽②〈ヴァイオリン〉	○ヴァイオリンの基本的な奏法を習得し、楽曲を演奏する。	○	○	○
	○ミュージカルの世界〈鑑賞〉	○ミュージカルの作品やその特徴について知る。	○	○	○
三学期	○器楽③〈ギター〉	○基本的な奏法を習得し、楽曲を演奏する。	○	○	○
	○器楽④〈和楽器・箏〉	○和楽器の基本的な奏法を習得し、楽曲を演奏する。	○	○	○
	○作品発表	○楽曲の演奏や鑑賞をする。	○	○	○

担当者からのメッセージ
音楽への愛や音楽によって人間を高めていくこと、音楽の持つ力や素晴らしさを知る。

## 開拓精神

令和 8 年度 学習シラバス				整理番号	0702
教科	芸術科	科目	音楽Ⅱ	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科 音楽選択者		

学習到達目標	
①歌唱、器楽、創作の諸活動をおこない、より深く追求することで音楽を愛好する心情を育成する。 ②自己の感じ取ったイメージを様々な形で表現し、様々な演奏について独自の観点を持って鑑賞できる。 ③我が国や諸外国の音楽を学習し、それぞれの音楽文化の特性や良さを感じ、多様な音楽観の育成をはかる。	
使用教材	
教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)
補助教材	Music Note (啓隆社) 各種プリント等

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音の多様性について理解している。 ○自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。	○音楽表現の要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさ自ら味わって聴いたりしている。	○音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
評価方法	・学習状況の観察 ・探求活動の表現 ・作品演奏としての実技試験	・学習状況の観察 ・実技を伴う歌唱、器楽の実技	・授業に取り組む態度 ・探求活動の表現 ・作品演奏としての実技試験

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○声を重ねて ○鑑賞①〈オペラ、ミュージカル〉 ○創作〈わらべ唄、グループ作品〉 ○発表会〈創作作品〉	○正しい姿勢や発声法を身に付け、表情豊かに表現する。 ○作品の内容や特徴を理解する作品について自分の意見を発表する。 ○楽譜が書けるようになり、簡単な旋律をつくる。 ○創作作品を発表するとともに、他の人の作品を鑑賞する。	○	○	○
二学期	○器楽〈ギター、キーボード、和楽器〉 ○鑑賞〈音楽史の変遷〉 ○アンサンブルの楽しみ	○基本的な奏法を身に付け、楽曲の演奏や鑑賞をする。 ○楽器の奏法や音色の特徴、良さを理解する。 ○音楽史の変遷を理解し、鑑賞した楽曲についてグループでまとめる。 ○作品について自分の意見を発表する。 ○アンサンブルの魅力を味わう。 ○楽器の特性やパートの融合とバランスについて理解する。 ○楽曲の特徴や効果的な奏法を理解し、表現や鑑賞する。	○	○	○
三学期	○発表会	○演奏形態や楽曲を決定する。 ○コンサートに向けての準備や練習を計画的におこなう。 ○選択した楽曲を演奏する。 ○鑑賞マナーについて考え、他の人やグループの演奏を鑑賞する。	○	○	○

担当者からのメッセージ
音楽への愛や音楽によって人間を高めていくこと、音楽の持つ力や素晴らしさを知る。

## 開拓精神

鹿児島県立頴娃高等学校

				整理番号	0703
教科	芸術科	科目	美術 I	単位数	2 単位
学年	1 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科 美術選択者		

学習到達目標	
<p>ものをつくる楽しさ、自分だけの表現を追求することの面白さ、また表現された内容を深く味わい、他者の個性を尊重することの大切さを学び、美術作品と美術を通したコミュニケーションに対する関心を深め、愛好する態度を養う。</p>	
使用教材	
教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)
補助教材	自作プリント等

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創作活動に取り組もうとする。
評価方法	学習状況の観察 探求活動の表現 個性を生かした表現	授業に取り組む態度 学習状況の観察 提出状況 探求活動の表現	授業に取り組む態度 学習状況の観察 提出状況 探求活動の表現

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○文字のデザイン	○自分のイメージに合った文字のデザインや配色を考える。 ○アクリルガッシュの使い方を理解し、彩色する。	○	○	○
	○静物を描く (油彩)	○油彩画の基本的な技法を習得する。 ○静物の基本的な形を捉える。 ○質感の表現を工夫する。	○	○	○
二学期	○浮き彫りによる手の表現	○丸彫りと浮き彫りの違いを理解する。 ○彫刻刀による基本的技法を知る。 ○手をよく観察し、表現に繋げる。 ○立体感や質感などの表現の工夫をする。	○	○	○
	○堆朱ストラップをつくる	○日本の伝統工芸の良さを理解する ○完成度を上げるよう務める。	○	○	○

担当者からのメッセージ
色や形を使って、自分の思いや考えを明るく前向きに表現しよう。

## 開 拓 精 神

整理番号	0704
単位数	2 単位

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ
学年	2 学年	学科・コース等	普通科 美術選択者

学習到達目標	
<p>○一年次に培った基礎的な知識と技能を基盤として、様々な要素の組み合わせた表現を行うとともに、自己の内面を追求する作品制作を行う。</p> <p>○ものをつくる楽しさ、表現を追求することの面白さ、また作品の内容を深く味わい、他者の個性を尊重することの大切さを学び、美術作品と美術を通したコミュニケーションに対する関心を更に深め、愛好する態度を養う。</p>	
使用教材	
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）
補助教材	自作プリント等

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>○対象や事象を捉える造形的な点について理解を深めている。</p> <p>○創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。</p>	<p>○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫し、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている</p>	<p>○美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法	<p>授業に取り組む態度</p> <p>学習状況の観察</p> <p>提出状況</p> <p>探求活動の表現</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>探求活動の表現</p> <p>個性を生かした表現</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>探求活動の表現</p> <p>個性を生かした表現</p>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○風景を描く（油彩）	<p>○印象深い風景を選択し、構図を考慮して画面に取り入れる。</p> <p>○油彩画の技法を生かし、イメージに合う色やタッチを工夫する。</p>	○	○	○
			○	○	○
二学期	○オリジナルTシャツをつくる	<p>○イメージに合ったTシャツのデザインや配色を考える。</p> <p>○ステンシルの技法を習得する。</p> <p>○オリジナルデザインのTシャツを完成させる。</p>	○	○	○
	○自画像を描く（鉛筆デッサン）	<p>○鏡を見ながら、鉛筆を使って自分の顔を描く。</p> <p>○鉛筆で濃淡をつけ、外面のみならず自己の内面を表現する。</p>	○	○	○
三学期	○自画像を描く（油彩）	<p>○自己のイメージに合ったポーズや表情を考える。</p> <p>○油彩画の技法を生かし、イメージに合う色やタッチを工夫する。</p> <p>○今の自分の思いや感情等も表現できるよう工夫する。</p>	○	○	○
			○	○	○

担当者からのメッセージ
色や形を使って、自己のイメージをより深く追求しながら創造しよう。

## 開 拓 精 神

教科	芸術科	科目	書道 I	単位数	2	単位
学年	1 学年	学科・コース等	普通科・機械電気科 書道選択者			

学習到達目標

- ①小・中学校国語科書写の学習を基礎として、表現及び鑑賞などの書道の幅広い活動を通して書を愛好する心情を育てる。  
 ②書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。  
 ③書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を育てる。

使用教材

教科書	書 I (光村出版)
-----	------------

目指す力と評価

	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	○日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、書のよさや美しさを創造的に味わっている。基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	○書のよさや美しさを感じ取り、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	○書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価方法	・学習状況の観察 ・作品等の提出状況や内容 ・小テスト	・学習状況の観察 ・提出作品の内容 ・制作活動の観察、発表	・授業に取り組む態度 ・学習状況や制作活動の観察 ・作品等の提出状況や内容

年間学習計画

学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○書へのいざない ○硬筆 ○漢字の書の学習(1)	○書の分野と学習意義、用具や用材、表現方法等を理解する。 ○硬筆の用具や基本を理解し、文字の調和を考えて書く。 ○漢字の古典を鑑賞し、書体の変遷や多様な表現を習得する。 ○楷書古典の臨書学習を習得する。 ○小楷の執筆法を学び、実用的な書に生かす。	○		○
	○漢字の書の学習(2) ○篆刻を学ぶ	○楷書と行書の違いを踏まえ、行書の特徴を理解する。 ○臨書や鑑賞を通して、行書の用筆法や運筆法等を習得する。 ○字典の利用方法、古典からの集字方法を習得する。 ○古典や近代の作品を参考に構成を考え、行書を創作する。 ○作品における落款と印の役割について理解する。 ○篆書を半紙に大きく書き、特徴をつかむ。 ○姓名印を作成する。	○		○
三学期	○仮名の書の学習 ○漢字仮名交じりの書	○仮名の成立、変遷独特の筆使い基本用筆について学ばせる。 ○単体、変体仮名、連綿の方法を理解する。 ○書の幅広い表現方法を理解する。 ○語句・毛筆・硬筆・紙を選び、古典を生かして表現する。	○	○	○

担当者からのメッセージ

芸術書道の技法を理解し、多彩な表現を楽しもう。

開拓精神

整理番号	0706
単位数	2 単位

教科	芸術科	科目	書道Ⅱ
学年	2 学年	学科・コース等	普通科 書道選択者

学習到達目標	
<p>①書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。</p> <p>②書の歴史や文化への理解を深め、書道Ⅰで培った表現と鑑賞の基礎的能力をさらに伸ばし、意欲的かつ主体的な学習や問題解決能力を高める。</p> <p>③「漢字」「仮名」「漢字仮名交じり」の活動をとおして個性を生かした創造的な書の表現及び古典の鑑賞の能力を高める。</p>	
使用教材	
教科書	書Ⅱ（光村出版）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>○日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わう。</p> <p>○創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。</p>	<p>○書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p>	<p>○書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況の観察</li> <li>作品等の提出状況や内容</li> <li>小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況の観察</li> <li>提出作品の内容</li> <li>制作活動の観察、発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む態度</li> <li>学習状況や制作活動の観察</li> <li>作品等の提出状況や内容</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	○漢字の書の学習(1)	○篆書の古典を学ぶ。	○	○	○
	○硬筆	○漢字と平仮名の調和を考えながら硬筆を書く。	○	○	○
	○漢字の書の学習(2)	○隷書の古典を学ぶ。 ○草書の古典を学ぶ。	○	○	○
二学期	○漢字の書の学習(3)	○行書の古典を学ぶ。 ○楷書の古典を学ぶ。 ○表現の工夫をしながら創作する。 ○半切・半切(三分の一・二分の一)から選び揮ごうする。 ○掛け軸の表装の基礎を知り、技能を習得する。	○	○	○
	○仮名の書の学習	○仮名の古典を学び、仮名の書の創作をする。	○	○	○
	○漢字仮名交じりの書	○古典を創作に生かす。 ○参考例より多様な表現方法を知る。 ○漢字と仮名の調和を考えながら創作する。	○	○	○

担当者からのメッセージ
書道Ⅰで学んだ技法を発展させて、さらに表現の幅を広げよう。

## 開拓精神